



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 地球温暖化防止について紙芝居を作る予定です!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■JR磐越西線の鉄橋が崩落しました

うつくしま地球温暖化防止活動推進員で喜多方市在住の五十嵐正一さんは、驚いたと言います。「昨年8月、会津地方を襲った豪雨で、阿賀川の支流の濁川に架かる鉄橋が崩落しました。喜多方駅の西の方です。4月には復旧しました。」

毎日のように、全国のどこかで線状降水帯が発生していること、50年に一度、100年に一度の豪雨や災害が毎年のように起きていることに心が痛むと言います。

■推進員になったきっかけ

「私は、電解コンデンサ用のアルミ製の電極箔を製造する工場に勤めていました。現役時代は、電力コストの削減やISO（環境・品質）の取得・維持に事務局長としてかかりました。」2015年に退職し、2017年に現役時代の知識や活動を生かしたいと考え、センター主催の推進員養成研修会を受講して推進

員になりました。喜多方市の補助金を活用して、約65基もある行政区の防犯灯をLED化したそうです。「効果が大きく、地区の電力費も削減できました。何よりも、住民の省エネ意識の向上に貢献できました。」

■喜多方日中線しだれ桜まつり

日中線とは、喜多方駅と熱塩駅を結んでいた旧国鉄日中線の跡地を整備した、約3kmの自転車歩行者専用道のことです。約1,000本のしだれ桜並木がトンネルのようになっていきます。「開花時期は4月中旬から下旬なのですが、まつりの開催時期の設定に苦慮しています。今年は、全国的に気温が高く早咲きでしたので開花が早く、ハズレでした。」

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「電気や自動車で便利になった生活は、大気中に膨大な二酸化炭素(CO₂)を排出します。このままではいけないと、みんな分かっていると思います。」生活を変えていくためにも、学ぶこと、知ること、伝えることが大切だと言います。「センター主催の勉強会には毎回参加することにしており、現在も8回シリーズのスキルアップ勉強会に参加しています。これから取り組みたいのは、公民館や地区の学校教育会と一緒に、地球温暖化防止活動の紙芝居を作ることです。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>